

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和6年度市町村議会議員研修〔2日間コース〕 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
2	場 所	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所（J I A M）
3	期 間	令和6年10月21日（月）から22日（火）までの2日間
4	内容・成果	<p><内容></p> <p>講義：「地方議会の展望」 講師：北川正恭氏（早稲田大学マニフェスト研究所顧問）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思い込み打破 2000年の地方分権一括法で大きく変わっている 国と地方の関係が主従関係から対等・協力関係へ 2. 議会の役割は執行部の監視だけではない 民意の反映／政策立案、提言／議員提案条例の制定 3. チーム議会（議員と議会事務局と一体となり全体で動く） 議員間討議／善政競争／気づきの連鎖 議員個人の質疑は空気銃 議会としての質疑（議員間討議の結果）はバズーカ砲 4. 改革の進む議会と遅れている議会の違い 進む議会…まだ足りないと、さらに先を求める 遅れている議会…すでにやっていると思っ込んでいる <p>講義：「議会改革度調査からみる地方議会」 講師：中村健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 議会は住民から何を期待されているか まちがよくなっていくこと 不安が小さくなっていくこと →すなわち「まちづくり」を期待されている 議会活動＝まちづくり 2. DX とは 変革（transformation）とは業務プロセスや事業構造を 抜本的に見直し、組織そのものを変えていくこと ・これからのありたい姿を前提に今の進め方や組織運営 を変えていく

これからは「議会力の差」で「地域に差」が生まれる

講義：「加賀市の取り組み」

講師：上田朋和氏（石川県加賀市議会副議長）

1. 開かれた議会へ

議会のホームページを見やすく刷新

SNS 活用による情報発信

ユーチューブ広報番組の配信

議会だよりの改善

より多くの市民に手に取って読んでいただけるように

フェイスブックに先行掲載

議会報告会→「議会おでかけトーク」として開催

住民参加型のグループトーク形式の導入

議員は各グループの進行役

進行役としてのスキル向上のため「ファシリテーション研修」を実施

〇〇議会の開催（子ども議会・女性議会・高校生議会）

議会おでかけ教室（市内小中学校で開催）

2. 政策提言できる議会へ

議会基本条例に「議会は…必要な政策を自ら立案し…」

「委員会は議会における政策立案及び提案を積極的に行う…」と明記

作りっぱなしにしない→検証してアクションにつなげる

3. ICT 活用

タブレットによるペーパーレス化

議場スクリーンの導入

傍聴席議場モニターの設置

オンライン会議の開催

（全員協議会・災害時情報伝達訓練・災害対策支援会議）

議会アンケートの導入（LoGo フォーム）

議会モニター実施

外部団体との意見交換会（Zoom）

講義：「体系的な議会政策サイクルと ICT 技術を活用した情報
発信・交流で住民の声や災害に対応できる議会へ」

講師：高橋たい子氏（宮城県柴田町議会議長）

1. 政策作りと監視機能

議会活動の検証

・チェックシートを活用した検証と検証結果を活かした
行動計画の策定

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年ごとに議会運営委員会において検証 政策サイクル ワールドカフェ形式の自由討議 2. 住民に開かれた議会 議会懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3種類（一般懇談会、団体懇談会、高校生徒の懇談会） ちょっとしたことからやってみる <ul style="list-style-type: none"> →やってみれば何かがわかる →ハプニングが起こると改善すべき点が見える 3. 災害に対応できる議会 タブレットを活用した安否確認・情報共有 コロナ禍でもやめない議会運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン一般懇談会 ・ オンライン議会運営委員会 「小さな気づきを大切に、できることから一つずつ」 <p>講義：「先進事例に学ぶ住民参画・情報共有」 講師：中村健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 議会だよりは何のため 誰に？何を？効果は？必要？ ターゲットの絞り込み <ul style="list-style-type: none"> ・ 「なんとなく参加」を「いつも協力的」に ・ 「警戒して参加しない」を「参加する」に 短期的戦略と長期的戦略を考える 2. 話し合うことの大切さ 議論を深めるには技術が必要（効果的な話し合い） <ul style="list-style-type: none"> 話をしないと自分の意見が伝えられない 話をしないと相手の考え方がわからない 議論・討論・会議・会話・対話 対話のメリット→答えを一緒に作っていく姿勢、プロセスの中での府落ち、合意形成 対話を円滑に進めるにはファシリテーションスキルが必要 住民に信頼される議会活動とは、目的（課題）を明確にし 取り組み全体をオープンにすること 課題→意見聴取→視察→考察→実行→評価 ※現状は「意見聴取」の後、住民への説明はほとんどない 3. 住民参加から住民参画へ 住民参加：議会が「今行っていること」へ住民が加わる <ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議や委員会を傍聴すること
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告会や意見交換会へ参加すること 住民参画：議会が「これから行うこと」へ住民が加わる ・ 条例や計画づくりへ参加すること ・ 議会が行う議論の前段階へ参加すること <p>住民自治を成熟させていく</p> <p><成果></p> <p>調査や先進地での取り組みを知ることにより、本町における具体的な議会改革の取り組みを見出し、考えることができた。</p> <p>すぐにでも取り組むべき内容は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員間討議をもっと活性化させる ・ ワールドカフェ形式による議員間の意見交換 ・ 議会事務局の役割の再定義 オールマイティに協力してもらうチーム議会を作る ・ 傍聴者の氏名住所等の記載をやめる ・ 広聴のための仕組みを作る 話しやすい雰囲気、環境、を作り出す ・ 議会活動の検証の仕組みを作る 2年ごとに検証し、次に生かすようにする 議会基本条例に検証方法、検証時期の内容を盛り込む
--	--	---

提出期限 令和6年11月5日（火）まで